

令和2年度 学校評価一覧		重点 目標	◇ふるさとに誇りを持ち、自立の気概にあふれる生徒の育成 ～共生・凡事徹底・挑戦～ 自らの生き方と社会をつなぐ				
			★学び合える集団をつくる ・授業、学級活動、生徒会活動、体育祭、学校祭、合唱コンクール、FC、道徳集会等で共感的・協動的に生き方や課題を探究・解決する学習活動を通して				
			★主体的に行動する個をつくる ・生徒指導の機能を生かし、よさを認め褒めることや共感的な関わりを育み、自己有用感、自己肯定感を高めることを通して				
			★一体感と活気ある学校をつくる ・生徒と教師が共に共感的・協動的に目標や課題解決に向かう学校づくり（情報共有と共通実践）を通して				
学校名 大館市立田代中学校		★チーム田代の更なる進化をつくる ・地域と共に歩む学校づくり(教職員、保護者、民生委員、行政協力員、常会長、職場体験協力者、公民館、福祉協議会等との連携促進)を通して					

大館ふるさとキャリア教育(未来大館市民の育成)	人間の基礎力・大館市民基礎力・大館市民実践力の育成	評価項目		自己評価A	学校関係者評価	評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B				
		I 自主・自律 安心な生活		明るく心のこもった挨拶をし規律ある落ち着いた生活を送りながら主体性や責任感を育もうとしている。 互いに認め合い、協力し合いながら安心した学校生活を送り、豊かな人間性を育もうとしている。	おおむね 良好		1 JAKS：基本的な生活習慣の確立 TPO：主体的実践力・協働力の育成	(1) JAKS（時間管理、挨拶・言葉遣い、聴く姿勢、整理整頓）の推進と基本的な生活習慣の確立 (2) 目標を意識した生活の確立（目標の設定と振り返り） (3) 生徒理解とよさを伸ばす関わりによる自己有用感、自己肯定感の醸成	・樹林ノートを活用した見通しのある生活、風紀委員会による推進活動 ・時と場に応じた挨拶、人の話に傾聴する姿勢や態度の向上→（凡事徹底） ・一歩前進を目指した学期や長期休業の目標設定→（挑戦） ・樹林ノート等を活用した生活の振り返り ・学級、生徒会活動の見届け、称揚と生徒同士が認め合う場の設定→（共生） ・アセス、いじめ調査等のデータを活用・共有した生徒支援	3			
II 思いやり、たくましさ、自立の心		集団や社会における人間関係の形成と、人としての生き方について考えを深め、自己実現を図ろうとしている。	おおむね 良好	3 よさの伸長と豊かな心と自立心			(4) 互いに支え合う個・集団づくり ・学級経営・学級活動 (5) 主体的実践力・共感的協働力の育成と学校生活の向上 ・実践的活動 生徒会活動 委員会活動 (6) 共感的・協働的活動による所属感、連帯感の醸成 ・体育祭、学校祭、合唱コンクール、田っ中ソーラン活動	・学級優先日の設定（学級生活の充実のために） ・学年集会の計画と実施 ・活動の振り返りの確保と価値付け（樹林N・特活F・キャリアN・キャリアP） ・生徒会テーマ「創誠協心」に基づいた日常活動の工夫 ・学校生活の向上を目指すための生徒会活動の充実 ・学校祭での生徒会活動の発信 ・全校が一つになって、各行事へ活気をもって取り組める計画と呼びかけ、実践 ・礼を重んじ、志を大事にした各儀式的行事の指導と実践	3				
III 基礎学力		一体感と活気ある授業の中で、基本的な学習習慣を身に付けながら「おおだて型学力」を向上させようとしている。					おおむね 良好	4 一体感と活気のある学習活動 5 授業改善への取組 6 諸検査の分析と活用 7 教職員の研修			(7) 自他を認め、互いに協力し合う生徒の育成 ・教育活動全体を通じた道徳教育と考え、議論する道徳の充実 (8) 郷土を愛し、交流・貢献する生徒の育成 ・職場体験、キャリア講話、未来を語る会 地区ボランティア活動等	・学校と学年の重点目標を位置付けた計画と実践 ・創意を生かした教育活動と関連付けた道徳の実践 ・活動の振り返りの確保と価値付け(道徳F、キャリアN、キャリアP活用) ・キャリア講話、未来を語る会での郷土愛の醸成 ・職場体験、企業訪問活動の充実 ・ボランティア活動、地域行事、子どもハローワーク参加の推進 ・活動の振り返りの確保と価値付け(キャリアN、キャリアP活用)	3
IV 健康と体力		食や運動を通して健康や体力への関心をもち、望ましい生活習慣を形成しようとしている。									おおむね 良好	8 保健活動の状況 9 部活動の状況	
V 組織運営		教職員が重点目標を意識し、主体的で組織的な学校運営に取り組んでいる。			おおむね 良好	10 組織的な学校運営 11 教育課程の編成・実施・改善				(13) 心と体の健康に向けての取組 (14) 主体的実践力・共感的協働力を育てる部活動			
VI 保護者・地域との連携		学校の取組が分かりやすく保護者や地域に伝えられ、地域の教育力が有効に活用されている。	おおむね 良好	12 情報の受発信と学校開放 13 地域の教育力の活用					(15) 学校教育目標・目指す学校像・生徒像実現への取組（共通実践・凡事徹底・チーム対応の浸透充実） (16) 社会に開かれた創意ある教育課程の編成 (17) 広報活動の充実と学校開放 (18) 地域・保護者等と連携・協働した教育活動	・四つの重点目標★印の共通理解 ・目標実現のための学校評価等の有効活用 ・共通実践・凡事徹底・チーム対応による一体感と活気ある学校運営 ・ふるさとキャリア教育を中心とし道徳・特活との関連を図った横断的な計画・評価 ・見通しのもてる年間計画・月計画・週計画の作成と運用 ・学校報、メールでの保護者への情報発信 ・HPでの地域社会への情報発信 ・学校開放の実践（保護者、地域） ・保護者との連携（PTA活動等）地域学校協働本部事業の活用 ・地域及び学校間の連携・協働のための連絡調整と活動の促進			